

令和6年5月30日

第2回 俳人協会神奈川県支部俳句大会 当日句

栗林明弘 選

特選3句

109	75	15
宍戸 サヨ そぞうそぞう 魔鬼女が摘みにくる	かの日 かの時 浮いて い	「男はつらいよ」 かの日 かの時 浮いて い
実朝 は永遠の青年 夏の雨云	とわ	小林 和せ

栗林明弘選 入選7句					
133	162	156	149	41	21
貝風鈴風を送ひて鳴りにけり 墓山を背負ひて動かやう	ひかりつ矢倉の口へ竹落葉 我が名前忘れし人へ力ネーション	ひかりつ矢倉の口へ竹落葉 我が名前忘れし人へ力ネーション	風籠を呼びダービーのファンファーレ 初夏の季語美しく集ひけり	金糸もて 日音を繕ふほたるかな 初夏の季語美しく集ひけり	風籠を呼びダービーのファンファーレ 長谷川耿人
寺田篤弘 （じゅうだい　あつひろ）	滝代文平 （たきしろ　ふみへい）	島田昌子 （しまだ　まさこ）	杉林明子 （すぎばやし　めいこ）	篠原広子 （しのはら　ひろこ）	矢嶋豊二 （やしま　ほうじい）

高田正子 選

特選3句

36	箭を撫でて鎌倉古道かづ	176	暮山を背負ひて動かさる
	三階に泰山木の花の空		山口みまる

高田正子選 入選7句						
150	109	104	101	91	86	71
肩の子のまた伸びあがる翠芽	蛇苺そろそろ魔女か摘みにくふ	夢に会う母はすか水芭蕉	睡蓮水面うつむきかな	青嵐昔日活撮影所	朝餉待つ登山電車見ゆる部屋	雲々立山歩背に一観世立月
吉田幸敏ヨシダヨウミン	彈塚直子タツヅカナオコ	川島青カワシマセイ	加藤和美カトウカミ	須藤昌義スドウマサヨシ	坂間壽子サカマトシコ	鹿野島孝カノノシマコウジ

令和6年5月30日

第2回俳人協会神奈川県支部俳句大会 当田句

中根美保選

特選3句

131	110	67
芒洋と暮れゆく沖や牧造翁	骨切りの日が清しき夕薄異色	万縁と抜け白波の海に出
古木俊子	古木俊子	井出洁堂

中根美保選 入選 7句						
176	149	135	28	18	10	4
三既に春山木の花の空心	ひかりつ矢倉の口へ竹落葉木	叶へば来る浦賀の渡し南吹く	明易し單るやうに雨一ノ門	風籠と呼びターピーのアシマード	薔薇園を出てすぐ消防自衛隊	田植終え眼鏡の泥の生乾き
山口みほる	杉林明子	後藤游基	近藤松嶽	二宮英子	長谷川耿人	大坪正美

令和6年5月30日

第2回 俳人協会神奈川県支部俳句大会 当日句

橋本榮治 選選

特選3句

49	47	40
遊歩路にマルシェの準備 朝雲	薔薇咲く赤山猫料理店のドア	身のうねりしづかなる水の雷相

橋本榮治選 入選7句						
162	150	126	115	109	60	14
墓山を前廻りで動かざる	肩の子のまた伸びあがる桑母	弥勒の手モナリザの指すべんぼ	初夏の空金闇に廻(まは)遇(まつ)	蛇苺さくさく魔女が摘みぐる	古本に煙草面白が走り梅雨	退院の一歩に仰ぐ花樽
滝代文平	吉田幸敏	佐藤亨子	山田則子	弾塙直子	岩橋恭子	安藤明
タキシロフミヘイ	ヨシダセイミン	サトウヒコ	ヤマダノリコ	タンゾウナオコ	イタハシキヨラコ	アンドウアキヨ

令和6年5月30日

第2回俳人協会神奈川県支部俳句大会 当日句

堀本裕樹 記念

特選3句

162	131	54
若林の身も旅の身も 身のこころがなるべく 身を真ひすく竹林	先輩と暮れかわく江戸へ 古傳子を月夜にて動かだす	大舟(ハリ)見事公のめがたみ北を一 先輩と暮れかわく江戸へ 古傳子を月夜にて動かだす

150	143	50	40	36	12	1
吉田幸敏	大椅幾久子	小林港子	岩本知子	数馬平吉	渡部たかし	山田蹴人

堀本裕樹選 入選7句

令和6年5月30日

第2回 俳人協会神奈川県支部俳句大会 当日句

山田真砂年 選選

特選3句

150	60	18
吉本に煙せ草の匂ひ走り梅雨 肩の子のまた伸あかる桑甘	田植終ふ眼鏡の泥の生乾き 古本に煙せ草の匂ひ走り梅雨	大坪正美 岩橋恭子

山田真砂年選_入選7句						
149	(25)	118	58	19	1	若葉風楽譜も旅の荷のひとつ
ひかりつ矢倉の口へ竹落葉				薔薇園を出でゆく消防音楽隊		山田跋人
杉林明子	木場十五	太田土男	山田伸生	二宮英子	関波対子	二宮英子